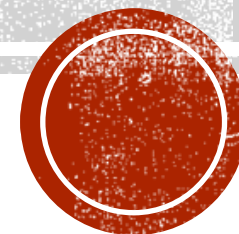


# 在宅勤務での状況報告 をカスタマイズしよう

Adaptive Cardカスタマイズ編

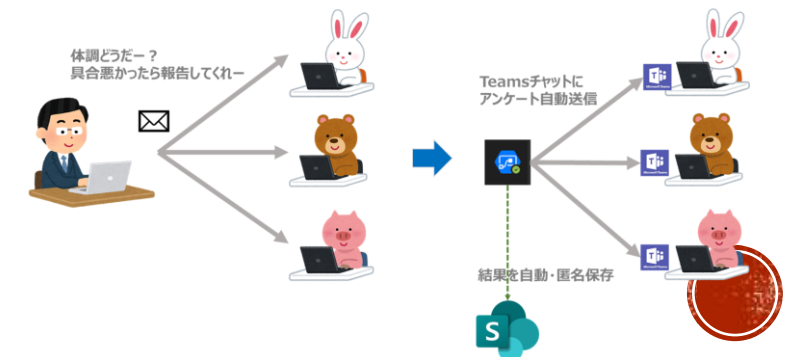


Hiro @mofumofu\_dance

# 体調状況報告フローについて

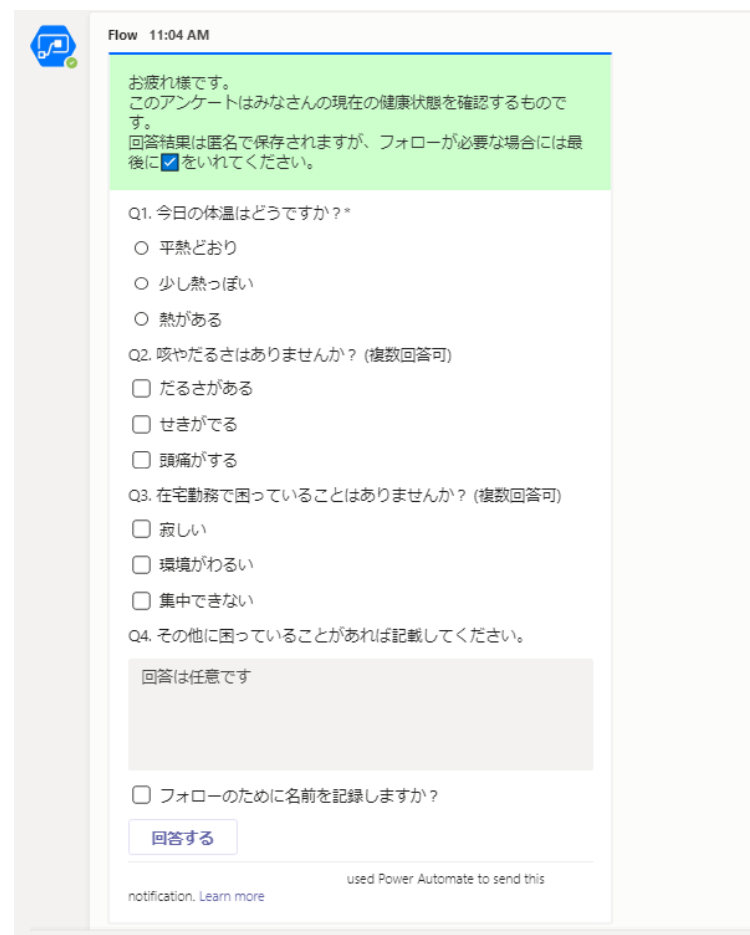
- COVID19の影響等により、在宅勤務をしなければならない状況、または遠隔地にチームメンバーがいる場合に、管理者としてメンバーの体調や課題・悩みを把握する必要があるかと思います。
- このフローではそのような環境下にある場合に、管理者としても、メンバーとしても簡単に体調や在宅勤務に関するサーベイをできる仕組みを提供します。
- そもそも在宅で新しいツール・サービスを利用しなければいけなくなった方にも優しいように、あまりたくさんのツールを使わず、利用者はMicrosoft Teamsおよび、管理者むけのSharePointサイトに接点を限定するようにしています。

在宅勤務での状況報告を自動化しよう！



# 体調状況報告フローのカスタマイズ

- メンバーが操作するのはTeamsのチャットに送られてきた “Adaptive Card”だけです。
- 回答は自動的に、かつ基本的には匿名でSharePointリストに保存されます。



Flow 11:04 AM

お疲れ様です。  
このアンケートはみなさんの現在の健康状態を確認するものです。  
回答結果は匿名で保存されますが、フォローが必要な場合には最後に ☒ をいれてください。

Q1. 今日の体温はどうですか？

☐ 平熱どおり  
☐ 少し熱っぽい  
☐ 熱がある

Q2. 咳やだるさはありませんか？ (複数回答可)

☐ だるさがある  
☐ せきがでる  
☐ 頭痛がする

Q3. 在宅勤務で困っていることはありませんか？ (複数回答可)

☐ 寂しい  
☐ 環境がわるい  
☐ 集中できない

Q4. その他に困っていることがあれば記載してください。

回答は任意です

☐ フォローのために名前を記録しますか？

used Power Automate to send this notification. [Learn more](#)

本ドキュメントでは、この質問内容を変更・追加する手順を解説します。

## 0. 準備

### 1. 質問項目の変更

### 2. 質問項目の追加

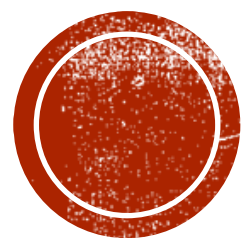
#### 2-0. 準備：Adaptive Cardデザイナーを理解する

#### 2-1. テキスト入力ボックス

#### 2-2. 選択肢 (単一選択)

#### 2-3. 選択肢 (複数選択)





# 0. 準備

## 0. 試験的機能の有効化

- Teams向けAdaptive Cardの編集では、Power Automateの試験的機能を有効にする必要があります。
- Power Automateのギアマークから、[すべてのPower Automate設定を表示]を選択し、試験的な機能のトグルをオンにします。



## 0. 試験的機能の有効化 – 確認

- 期待通り [試験的な機能]が有効化されると、インポートしたフローのうち、サーベイ送信アクションが、以下のように表示されます。
- もしこのような表示にならず、相変わらず文字の羅列になっている場合には、再度設定を確認してください。

↓

↶ Apply to each ...

\* 以前の手順から出力を選択

出力 ×

**サーベイ送信 (プレビュー)** ⓘ ...

**受信者\***

カスタム値

**メッセージ**

キーの入力 値の入力

アダプティブ カード の編集

**更新メッセージ**

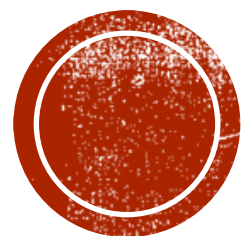
ご回答ありがとうございました。

カードの更新が必要 はい

詳細オプションを表示する ▾

+

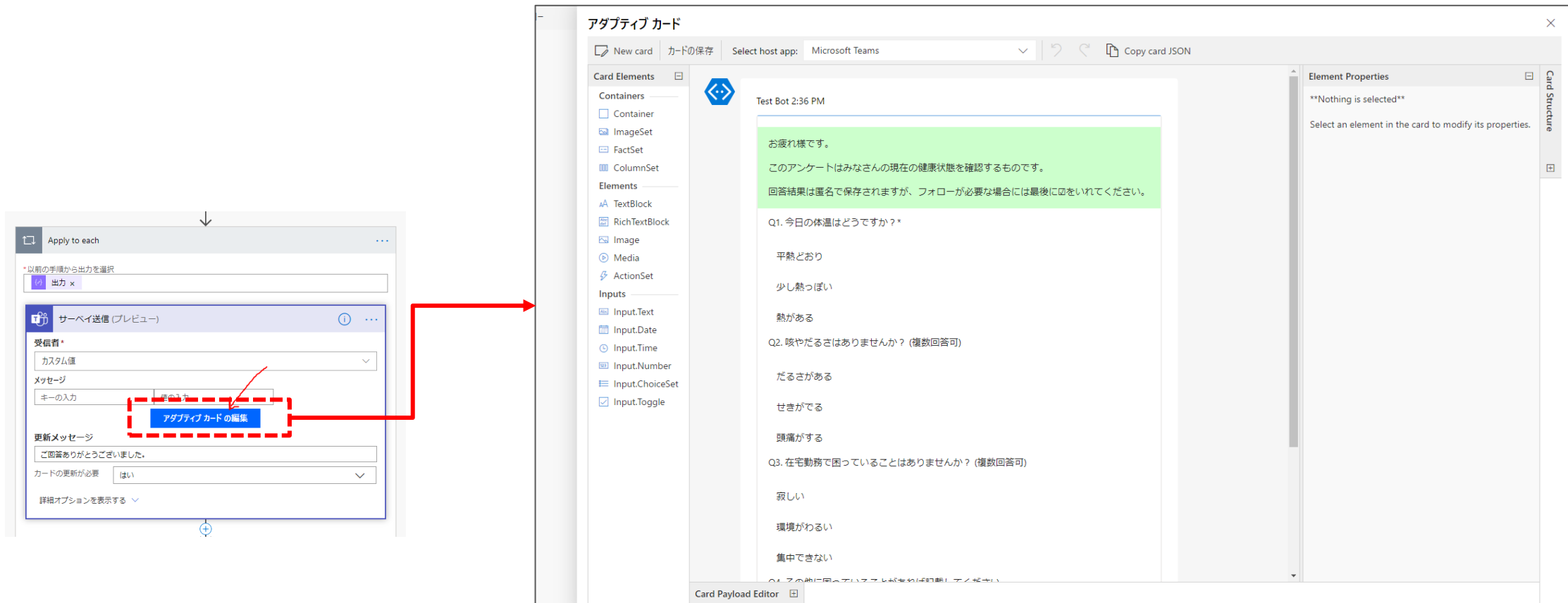




# 1. 質問項目の変更

# 1. Adaptive Cardデザイナーを利用する

- まずはカスタマイズのためにAdaptive Cardデザイナーを開きます。
- サーベイ送信 のアクションにある [アダプティブカードの編集] をクリックしましょう。すると右図のような画面が表示されます。これが **Adaptive Cardデザイナー** です。





# 1. Adaptive Cardデザイナーを利用する – Adaptive Cardとパーツの対応

The screenshot displays the Adaptive Card Designer interface. On the left, a preview of the Adaptive Card is shown, titled "Test Bot 2:36 PM". The card contains a header with a green background, followed by four questions (Q1-Q4) with corresponding input fields. Q1 and Q2 are multiple-choice questions, Q3 is a multiple-choice question, and Q4 is a text input question. A red box highlights the "回答は任意です" (Answer is optional) text. On the right, the "Card Structure" panel shows the hierarchical structure of the card, listing the components used: AdaptiveCard, Container, TextBlock, Input.ChoiceSet, Input.Text, Input.Toggle, and ActionSet.

Card Structure

- AdaptiveCard
  - Container
    - TextBlock [お疲れ様です。]
    - TextBlock [このアンケートはみなさんの現在の健康状態を確認するものです。]
    - TextBlock [回答結果は匿名で保存されますが、フォローが必要な場合には最後にIDを教えてください。]
    - TextBlock [Q1. 今日の体温はどうですか? \*]
    - Input.ChoiceSet
    - TextBlock [Q2. 咳やだるさはありませんか? (複数回答可)]
    - Input.ChoiceSet
    - TextBlock [Q3. 在宅勤務で困っていることはありませんか? (複数回答可)]
    - Input.ChoiceSet
    - TextBlock [Q4. その他に困っていることがあれば記載してください。]
    - Input.Text
    - Input.Toggle
    - ActionSet
      - Action.Submit [回答する]

- 表示されたカードとCard Structure (中にあるパーツのツリー表示) を見比べると、
  - ChoiceSet (選択肢) x3
  - Input.Text (テキストボックス) x1

で構成されていることがわかります。



# 1. Adaptive Cardデザイナーを利用する – Adaptive Cardとパーツの対応

- 最初の質問をクリックしてみると、右側、[Element properties] というところに各種設定値が表示されます。
- 回答の選択肢を変更・追加する場合には、赤枠内の Choicesを増やしたり減らしたりしてください。

The screenshot displays the Adaptive Card Designer interface. On the left, a preview of the survey form is shown with questions Q1, Q2, and Q3. Q1 asks for today's temperature, Q2 asks if the user has a cough, and Q3 asks if they are having trouble with remote work. The middle panel shows a tree of components including TextBlock, Input.ChoiceSet, Input.Toggle, and ActionSet. The right panel shows the properties for the selected component, with the 'Choices' section highlighted by a red dashed box. This section contains three choices: 'normal' (平熱どおり), 'feverish' (少し熱っぽい), and 'fever' (熱がある), each with a delete button (X). Below the choices is an 'Add a new choice' button.

Choices
平熱どおり
少し熱っぽい
熱がある
Add a new choice



# 1. Adaptive Cardデザイナーを利用する – Element Properties

- 実際にChoicesをいじるときには、左側のボックスがカード表面、つまりユーザーに見える文字列で右側のボックスがPower Automateで、ユーザーの選択結果として得られる値であることに注意してください。

Choices	
平熱どおり	normal
少し熱っぽい	feverish
熱がある	fever

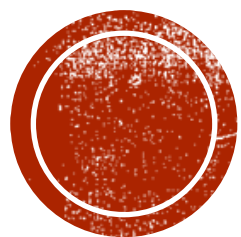
Add a new choice

回答結果として出力される値 (Power Automateで取れるのはこっち)  
今回でいえば、**SharePointの選択肢列に入れる値**

**Choicesを増やしたら・変更したら、SharePoint側の列も変更する！**

カード上で表示されるテキスト





## 2. 質問項目の追加

ちょっと手間なので無理にやらなくても…

## 2. 設問を追加するためのステップ

---

- 項目追加はちょっとタイヘンです。やることを箇条書きすればそれほどでもないですが・・・
  1. Adaptive Card側でパーツ追加・設定
  2. パーツ種別に応じてPower Automateで処理追加（複数選択くらい）
  3. SharePointに列追加
  4. Power Automate側でAdaptive Cardの出力とマッピング
- それぞれ少しずつ大変ですが、これを機に習得したい！という方はトライしてみてください。



## 2-0. 準備 : Adaptive Cardデザイナーを理解する

- この準備が一番のハードルかもしれませんが、簡単に、Adaptive Cardデザイナーの見方を紹介します。

アダプティブ カード

New card カードの保存 Select host app: Microsoft Teams Copy card JSON

Card Elements

- Containers
  - Container
  - ImageSet
  - FactSet
  - ColumnSet
- Elements
  - TextBlock
  - RichTextBlock
  - Image
  - Media
  - ActionSet
- Inputs
  - Input.Text
  - Input.Date
  - Input.Time
  - Input.Number
  - Input.ChoiceSet
  - Input.Toggle

Test Bot 2:36 PM

お疲れ様です。  
このアンケートはみなさんの現在の健康状態を確認するものです。  
回答結果は匿名で保存されますが、フォローが必要な場合には最後に☑をいれてください。

Q1. 今日の体温はどうですか？ \*

平熱どおり  
少し熱っぽい  
熱がある

Q2. 咳やだるさはありませんか？ (複数回答可)

だるさがある  
せきができる  
頭痛がする

Q3. 在宅勤務で困っていることはありませんか？ (複数回答可)

寂しい  
環境がわるい  
集中できない

Element Properties

Input.ChoiceSet

Data context (not set) ...

Only show when (not set) ...

Id Temperature

Initially visible ☒

Placeholder Placeholder text

Allow multi selection ☐

Compact style ☐

Default value (not set)

Layout

Spacing Default

Separator ☐

Wrap ☐

Choices

平熱どおり	normal	X
少し熱っぽい	feverish	X
熱がある	fever	X

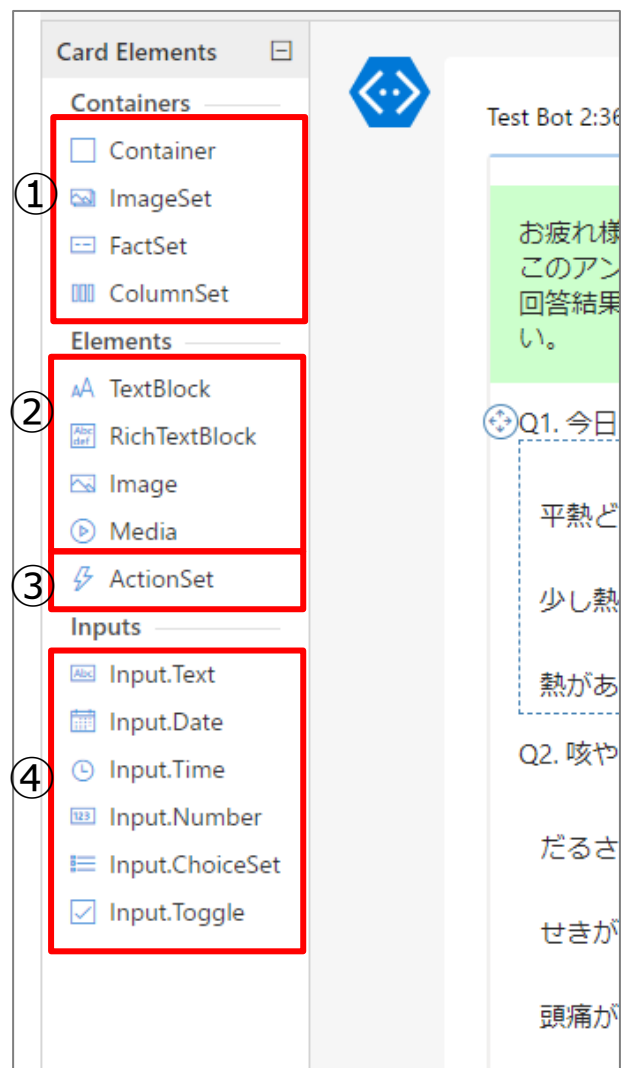
Add a new choice

Card Payload Editor



## 2-0. 準備 : Adaptive Cardデザイナーを理解する – パーツ類

- 大きくは4種類です。



### ① レイアウト系

テキストを一括りにしたり、画像を複数並べる、箇条書き  
カードを縦方向に分割するために利用する

### ② データ表示系

テキスト、リッチテキスト、画像、メディア(動画・音声)を表示  
画像はURLまたはdataUri、メディアはまだ非対応

### ③ アクション

カードの送信、URLを開く、サブカードの表示・非表示切替

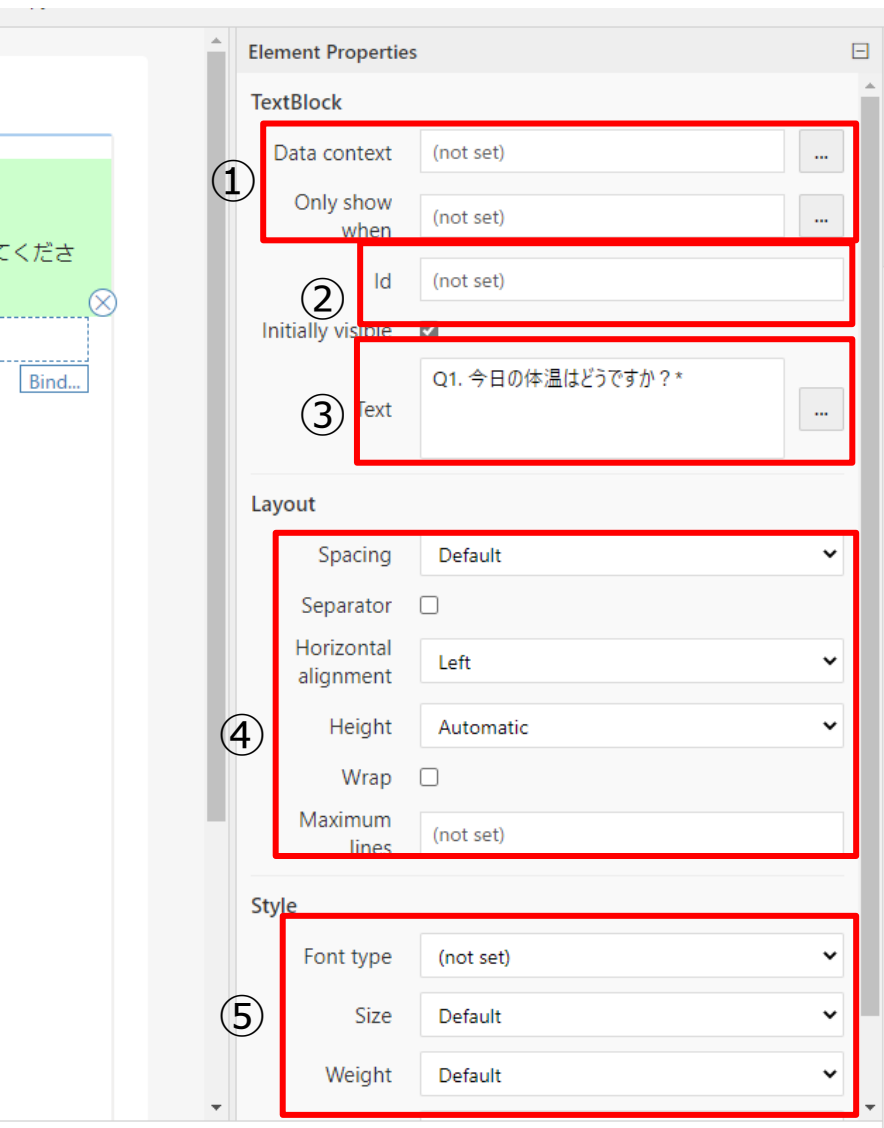
### ④ 入力系

ユーザーの入力・選択のためのコントロール  
それぞれの値を受け渡すために**必ず一意なIDをつける**



## 2-0. 準備 : Adaptive Cardデザイナーを理解する – パーツごとの設定

- Element Properties ペインで設定します。



- ① **とりあえず無視** ここはPower Automateではうまく使えなかった
- ② **ID** 入力系では必須。表示系であればつけなくてもよい
- ③ **パーツ固有の設定** ここではテキストなのでその文章
- ④ **レイアウト** ここは実際触って変えてみるのが早い
- ⑤ **スタイル** フォントの太さ、サイズなどを変更できる





## 2-0. 準備 : Adaptive Cardデザイナーを理解する – パーツの配置

- パーツの配置替え、[Card Elements] からの挿入は表示部分へのドラッグ & ドロップで行います。

Card Structure上では入れ替えできない

The screenshot displays the Adaptive Card Designer interface. On the left, the 'Card Elements' panel lists various components under 'Containers' (Container, ImageSet, FactSet, ColumnSet) and 'Elements' (TextBlock, RichTextBlock, Image, Media, ActionSet). Below these are 'Inputs' (Input.Text, Input.Date, Input.Time, Input.Number, Input.ChoiceSet, Input.Toggle). The main canvas shows a form with questions in Japanese, such as 'Q2. 咳やだるさはありませんか？ (複数回答可)' and 'Q3. 在宅勤務で困っていることはありませんか？ (複数回答可)'. A red arrow points from the 'Card Elements' panel to the canvas, indicating the drag-and-drop action. Another red arrow points from the 'Card Elements' panel to the 'Input.Toggle' component, indicating the insertion of new parts. On the right, the 'Card Structure' panel shows a tree view of the card's structure, including 'AdaptiveCard', 'Container', and various 'TextBlock' and 'Input' elements. A blue arrow points from the 'Card Structure' panel to the main canvas, indicating that changes made in the structure panel are reflected in the visual representation.

新しいパーツの挿入もドラッグ & ドロップ

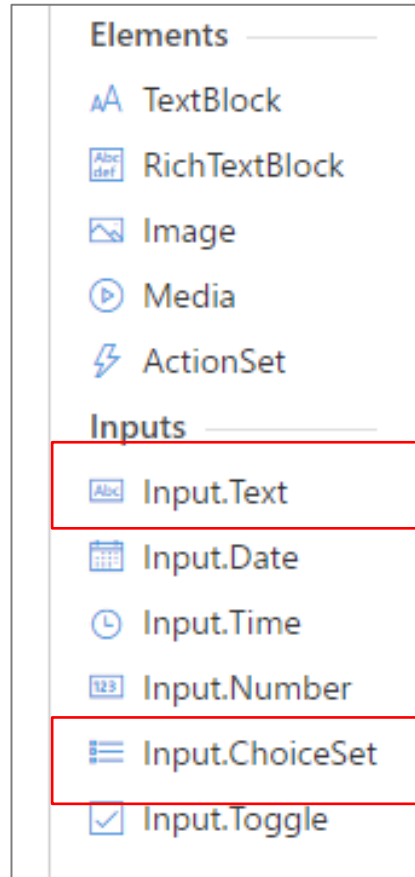
パーツを選択して、ドラッグ & ドロップで移動 (順序替え、コンテナに格納など)



## 2-1~3. パーツの追加

---

- ここからはパーツの追加方法を紹介します。

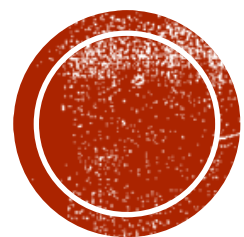


今回はアンケートでよく使いそうな & 配布したテンプレートでも利用している以下のパーツ種を考えます。

- 2-1 : テキスト入力ボックス
- 2-2 : 選択肢 (単一)
- 2-3 : 選択肢 (複数)

それぞれAdaptive Cardへの追加→SharePointリスト設定→フロー設定が必要になります。

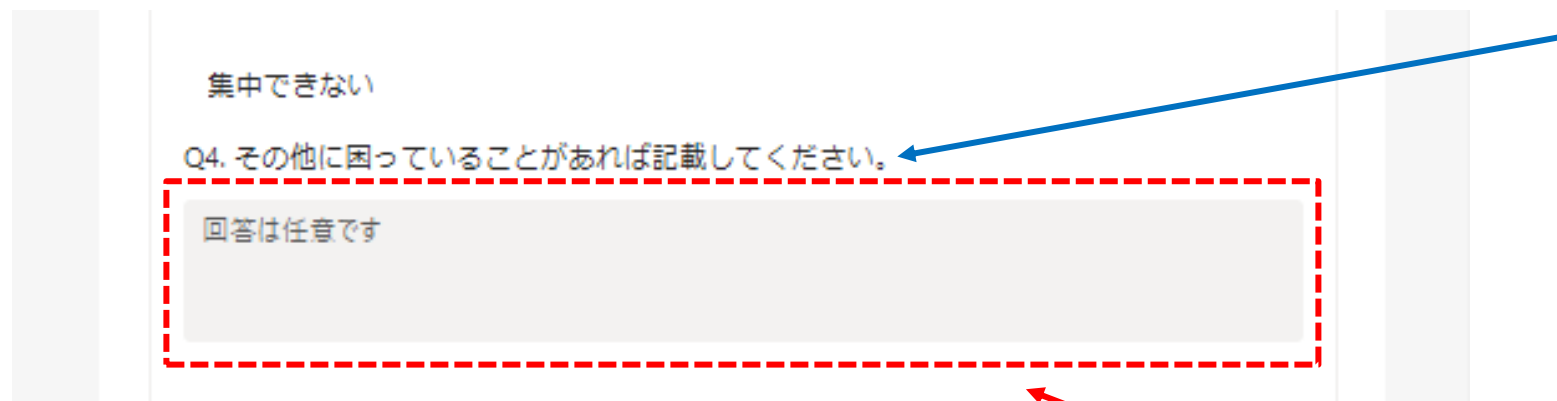




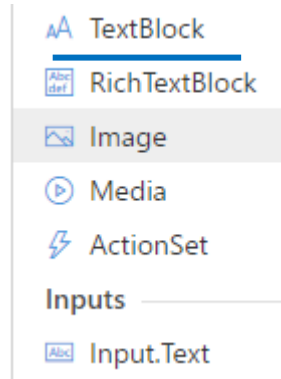
## 2-1. テキスト入力ボックス

## 2-1. テキスト入力ボックスを追加する – Adaptive Card

- 配布したテンプレートではQ4がテキスト入力ボックスを利用しています。
- これと同様の設問を一つ追加する方法をご紹介します。



ここはTextBlockパーツ (ラベル)

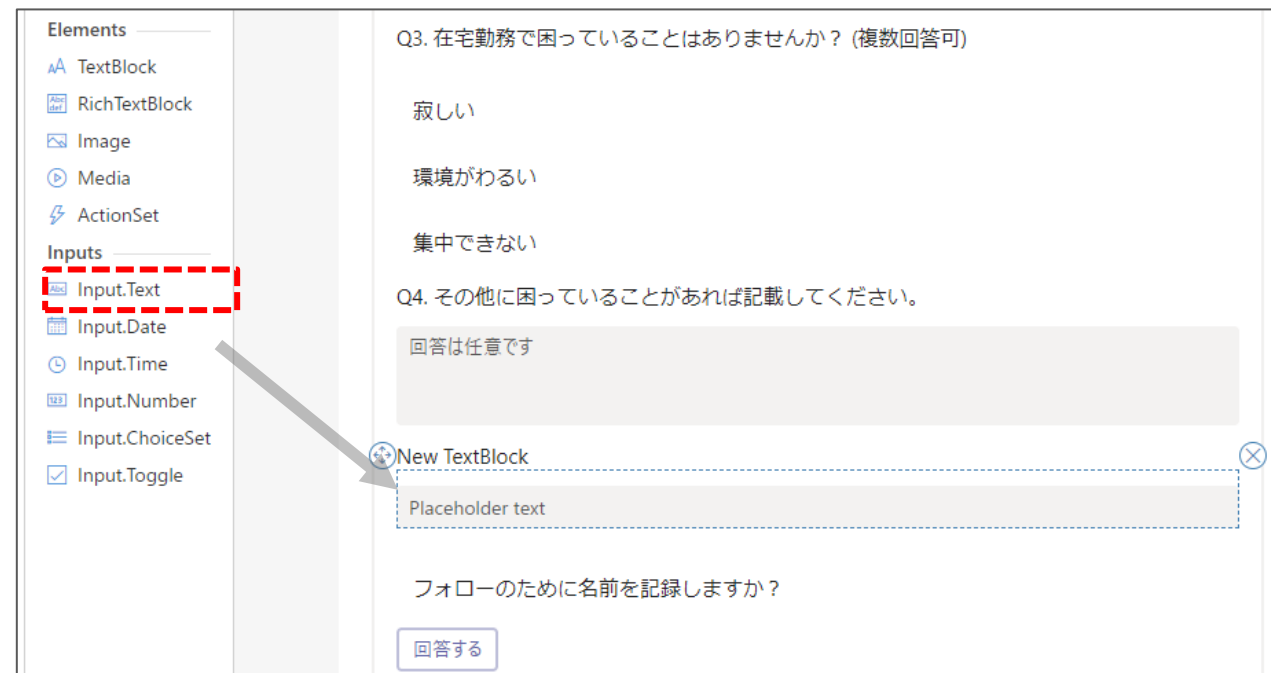


この入力が Input.Text パーツ



## 2-1. テキスト入力ボックスを追加する – Adaptive Card

- TextBlock、Input.Textパーツはいずれもドラッグ＆ドロップでカードに配置できます。



## 2-1. テキスト入力ボックスを追加する – Adaptive Card

- TextBlockには質問内容を記載します。
- TextBlockを左側の表示で選択し、Element Propertiesの Text 欄 (赤枠内) に質問を入力してください。

The screenshot displays the Adaptive Card editor interface. On the left, a list of symptoms is shown: だるさがある, せきがでる, 頭痛がする, Q3. 在宅勤務で困っていることはありませんか? (複数回答可), 寂しい, 環境がわるい, 集中できない, Q4. その他に困っていることがあれば記載してください., 回答は任意です, Q5. ここに質問をかく, Placeholder text, and フォローのために名前を記録しますか?. The Q5 item is selected, indicated by a dashed blue border and a blue 'x' icon. On the right, the 'TextBlock' properties panel is open. The 'Text' field is highlighted with a red dashed border and contains the text 'Q5. ここに質問をかく'. The 'Initially visible' checkbox is checked. The 'Layout' section shows 'Spacing' set to 'Default', 'Horizontal alignment' set to 'Left', and 'Height' set to 'Automatic'.

だるさがある

せきがでる

頭痛がする

Q3. 在宅勤務で困っていることはありませんか? (複数回答可)

寂しい

環境がわるい

集中できない

Q4. その他に困っていることがあれば記載してください。

回答は任意です

Q5. ここに質問をかく

Placeholder text

Bind...

TextBlock

Data context (not set) ...

Only show when (not set) ...

Id (not set)

Initially visible ☒

Text Q5. ここに質問をかく ...

Layout

Spacing Default ▾

Separator ☐

Horizontal alignment Left ▾

Height Automatic ▾

Wrap ☐

Maximum lines (not set)



## 2-1. テキスト入力ボックスを追加する – Adaptive Card

- Input.Textパーツとして設定箇所は大きく3つです。



せきがでる

頭痛がする

Q3. 在宅勤務で困っていることはありませんか？ (複数回答可)

寂しい

環境がわるい

集中できない

Q4. その他に困っていることがあれば記載してください。

回答は任意です

⊕ Q5. ここに質問をかく ⊗

未入力時の表示テキストはここにかく



Id q5

Initially visible ☒

Placeholder 未入力時の表示テキストはここにかく

Multi-line ☐

Style Text

Maximum length (not set)

Default value (not set)

Layout

Spacing Default

Separator ☐

Inline action

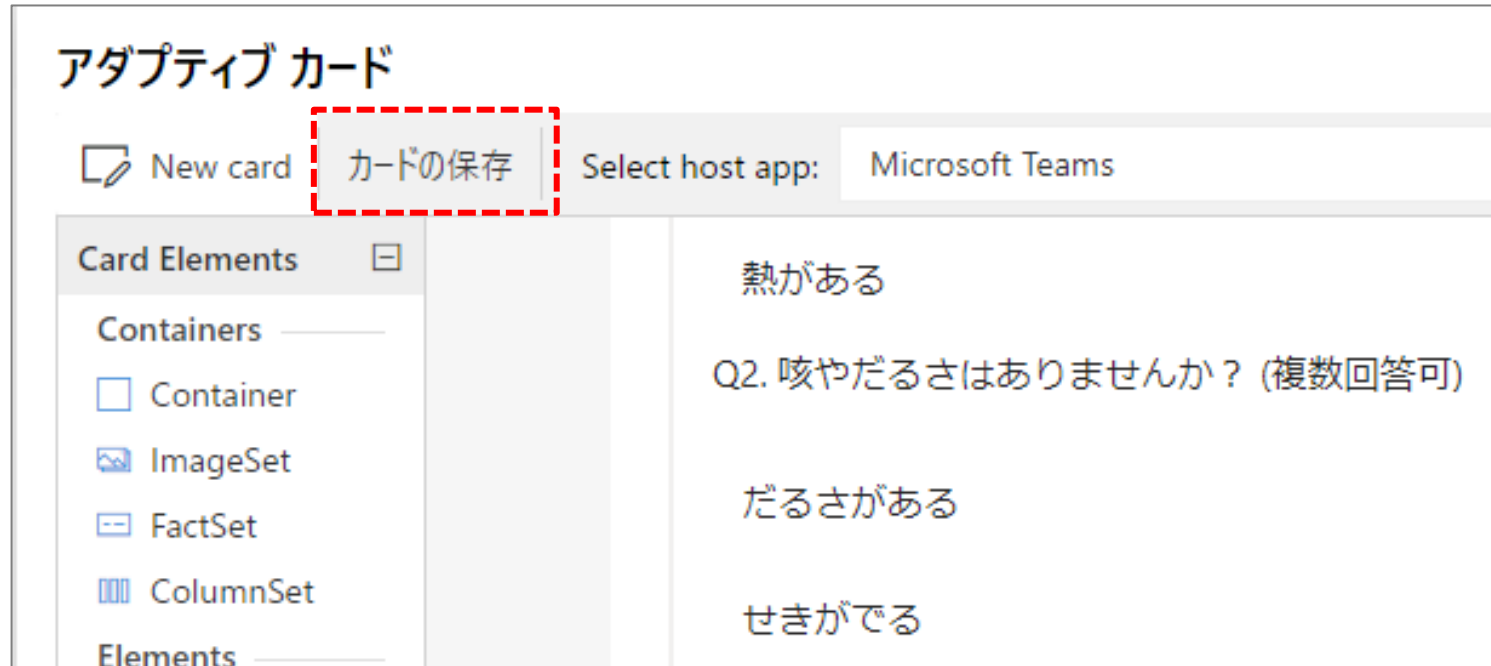
Action type (not set)

- Id : 入力系では必須。何らかの一意的な値を入力します。
- Placeholder : 未入力時の表示文字を設定します。なくてもよいですが、入れたほうが親切です。
- Multi-line : 複数行の回答エリアを作るときにはここをチェックします。



## 2-1. テキスト入力ボックスを追加する – Adaptive Card

- 設定が完了したらAdaptive Cardデザイナー上部の [カードの保存] をクリックします。



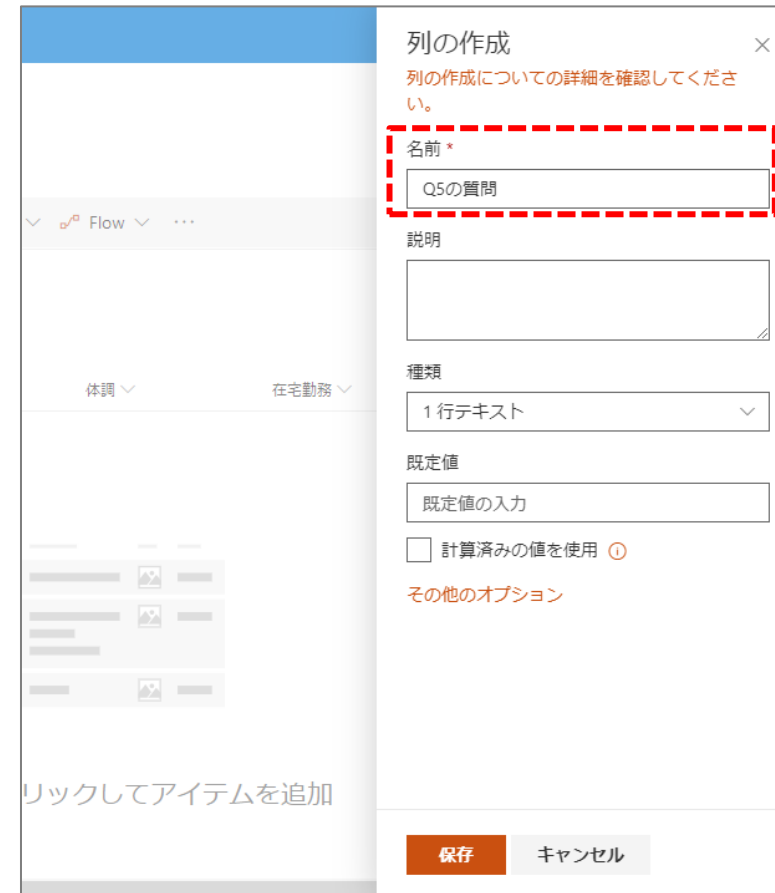
- デザイナー上での編集はこれで完了です。
- 次に、ここで設定した質問を保存する列をSharePointに作成します。





## 2-1. テキスト入力ボックスを追加する – SharePoint

- 導入手順と同様に、回答を保存する列をSharePointリストに追加します。



- フローを導入する際に作成したSharePointリストで列の追加を行います。ここでは [1行テキスト] または [複数行テキスト] を選択します。
- 列名はわかりやすいものであれば任意です。



## 2-1. テキスト入力ボックスを追加する – Power Automate

- 最後に回答データをSharePointリストの新しい列に保存する設定を行います。
- 操作前に必ず、フローの保存 & 開きなおしをしてください。これによってリストの列追加が反映されます。



- フローの [Apply to each] アクションをクリックし、中にあるSharePointへのアイテム登録 [回答結果登録] を選択すると、新しい列が追加されています。
- ここに、[サーベイ送信] アクションの結果を登録します。



## 2-1. テキスト入力ボックスを追加する – Power Automate

- 新しい列の入力にカーソルを合わせると、右上に雷マークが表示されます。
- これをクリックすると、[動的な値]（フロー上で取り扱えるデータ）が一覧表示されるので、この中から、先ほど Adaptive Cardデザイナーで**設定した設問のId**を選択します。

The image consists of two side-by-side screenshots from the Power Automate Adaptive Card Designer interface.

The left screenshot shows a form titled "回答結果登録" (Response Result Registration). It contains several input fields: "サイトのアドレス" (Site Address) with a dropdown menu, "リスト名" (List Name) with a dropdown menu, "Title" with a text input field, "体温 Value" (Body Temperature Value) with a dropdown menu, "体調" (Condition) with a dropdown menu, "在宅勤務" (Working from Home) with a dropdown menu, and "その他悩みごと" (Other concerns) with a dropdown menu. At the bottom, there is a section labeled "Q5の質問" (Question 5) with a text input field. A red dashed box highlights this input field, and a callout bubble with a lightning bolt icon points to it, indicating that a dynamic value can be added.

The right screenshot shows the "動的な値" (Dynamic Values) panel. It displays a list of dynamic values that can be inserted into the form. The values are listed in a table with columns for the value name and a description. The values are: responseTime, objectId, tenantId, submitActionId, email, userPrincipalName, and displayName. Each value has a description indicating that sample data cannot be used. The "submitActionId" value is highlighted, and a button labeled "動的な値を挿入する" (Insert dynamic value) is visible at the bottom of the panel.



## 2-1. テキスト入力ボックスを追加する – Power Automate

回答結果登録

Title列には「匿名」か、回答者のDisplay Nameを記録

サイトのアドレス\*

MySite - https://<img alt="SharePoint icon" data-bbox="115 255 135 275"/>sharepoint.com/sites/MySite

リスト名\*

SurveyResult

Title\*

fx if(,,) X

体温 Value

temperature X

体調

出力 X

在宅勤務

出力 X

その他悩みごと

otherConcern X

Q5の質問

q5 X |

詳細オプションを表示する

アクションの追加

サーベイ完了報告 (プレビュー)

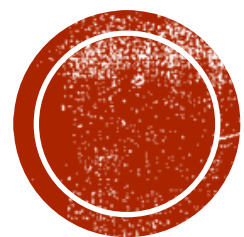
+ 新しいステップ

保存

このように表示されれば設定は完了です。

- フローを保存してテストしてみてください。





## 2-2. 選択肢（単一選択）

## 2-2. 単一の選択肢を追加する – Adaptive Card

- 配布したテンプレートではQ1で単一の選択肢を利用しています。
- これと同様の設問を一つ追加する方法をご紹介します。

The screenshot shows the Adaptive Card editor interface. On the left, a card preview displays a question: "Q1. 今日の体温はどうですか？\*" with three radio button options: "平熱どおり", "少し熱っぽい", and "熱がある". On the right, the configuration panel for this question is shown. It includes a red dashed box highlighting the "Allow multi selection" and "Compact style" options, both of which are unchecked. A red arrow points from the text below to the "Compact style" checkbox. Other settings visible include "Initially visible" (checked), "Placeholder text", and "Default value" (not set).

Allow multi selection がチェックなし  
※ラジオボタン形式にするなら、Compact styleを**チェックしない**  
ドロップダウンにするなら、Compact styleを**チェックする**

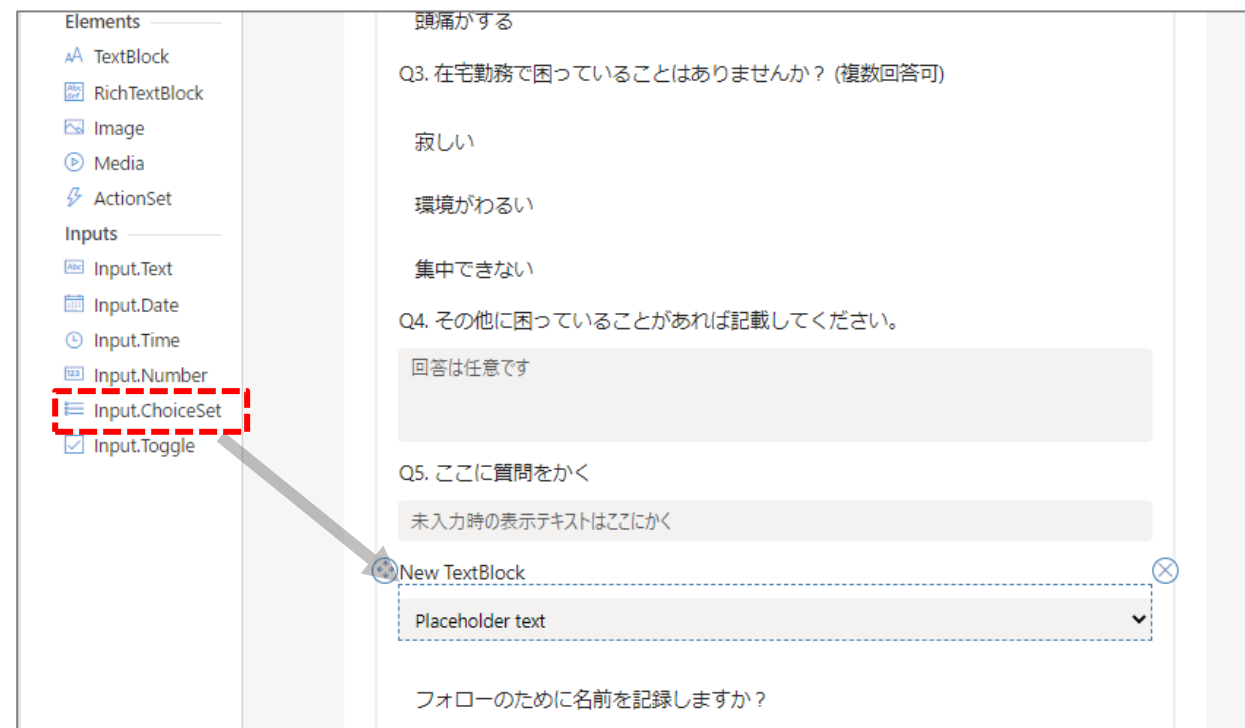
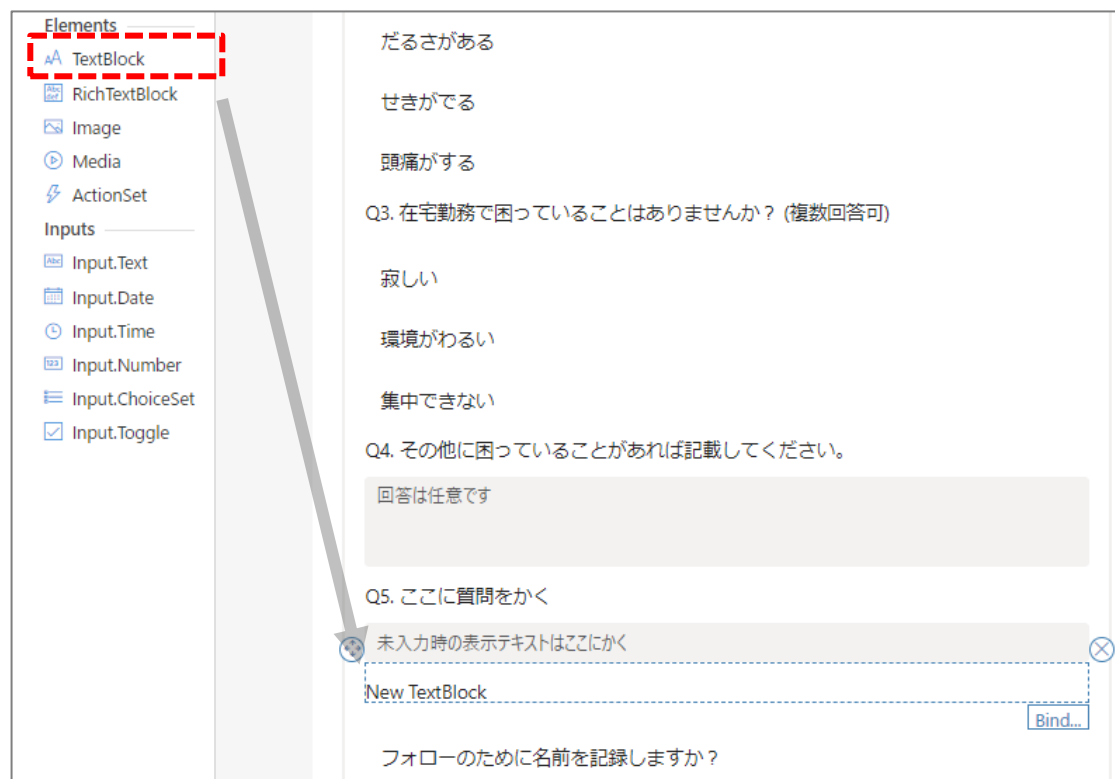
Q1. 今日の体温はどうですか？\*

This screenshot shows the rendered Adaptive Card. The question "Q1. 今日の体温はどうですか？\*" is followed by a dropdown menu. The dropdown is currently open, showing the same three options as the radio buttons in the previous image: "平熱どおり", "少し熱っぽい", and "熱がある". The placeholder text "Placeholder text" is visible above the options.



## 2-2. 単一の選択肢を追加する – Adaptive Card

- TextBlock、Input.ChoiceSetパーツはいずれもドラッグ＆ドロップでカードに配置できます。



## 2-2. 単一の選択肢を追加する – Adaptive Card

- TextBlockには質問内容を記載します。
- TextBlockを左側の表示で選択し、Element Propertiesの Text 欄 (赤枠内) に質問を入力してください。

The screenshot displays the Adaptive Card editor interface. On the left, a list of symptoms is shown: だるさがある, せきがでる, 頭痛がする, Q3. 在宅勤務で困っていることはありませんか? (複数回答可), 寂しい, 環境がわるい, 集中できない, Q4. その他に困っていることがあれば記載してください., 回答は任意です, Q5. ここに質問をかく, 未入力時の表示テキストはここにかく, Q6. 複数回答不可な質問です, and Placeholder text. The 'Q6. 複数回答不可な質問です' item is selected, indicated by a blue dashed border and a blue 'X' icon. On the right, the 'TextBlock' properties panel is open. The 'Text' field is highlighted with a red dashed border and contains the text 'Q6. 複数回答不可な質問です'. The 'Initially visible' checkbox is checked. The 'Layout' section shows 'Spacing' set to 'Default', 'Separator' unchecked, 'Horizontal alignment' set to 'Left', 'Height' set to 'Automatic', 'Wrap' unchecked, and 'Maximum lines' set to '(not set)'. The 'Style' section is partially visible at the bottom.





## 2-2. 単一の選択肢を追加する – Adaptive Card

- Input.Textと比べて少し設定が複雑です。

The screenshot displays the configuration interface for an Adaptive Card. On the left, a list of questions is shown, with the last one, 'Q6. 複数回答不可な質問です', highlighted with a blue dashed box. On the right, the configuration panel for 'Input.ChoiceSet' is visible. Several fields are highlighted with red dashed boxes:

- Id**: Set to 'q6'.
- Placeholder**: Set to '未選択時 & コンパクトスタイルでの表示'.
- Compact style**: Checked.
- Choices**: A list of choices with their internal values:
  - momo (peach)
  - ringo (apple)
  - mikan (orange)

- Id : 入力系では必須。何らかの一意的な値を入力します。
- Placeholder : Compact styleで、未選択時の表示文字を設定します。
- Choices : 選択肢のカード上の表示と、内部的な値を設定します。



## 2-2. 単一の選択肢を追加する – Adaptive Card

- 実際にChoicesをいじるときには、左側のボックスがカード表面、つまりユーザーに見える文字列で右側のボックスがPower Automateで、ユーザーの選択結果として得られる値であることに注意してください。

Choices	
平熱どおり	normal
少し熱っぽい	feverish
熱がある	fever

Add a new choice

回答結果として出力される値 (Power Automateで取れるのはこっち)  
今回でいえば、**SharePointの選択肢列に入れる値**

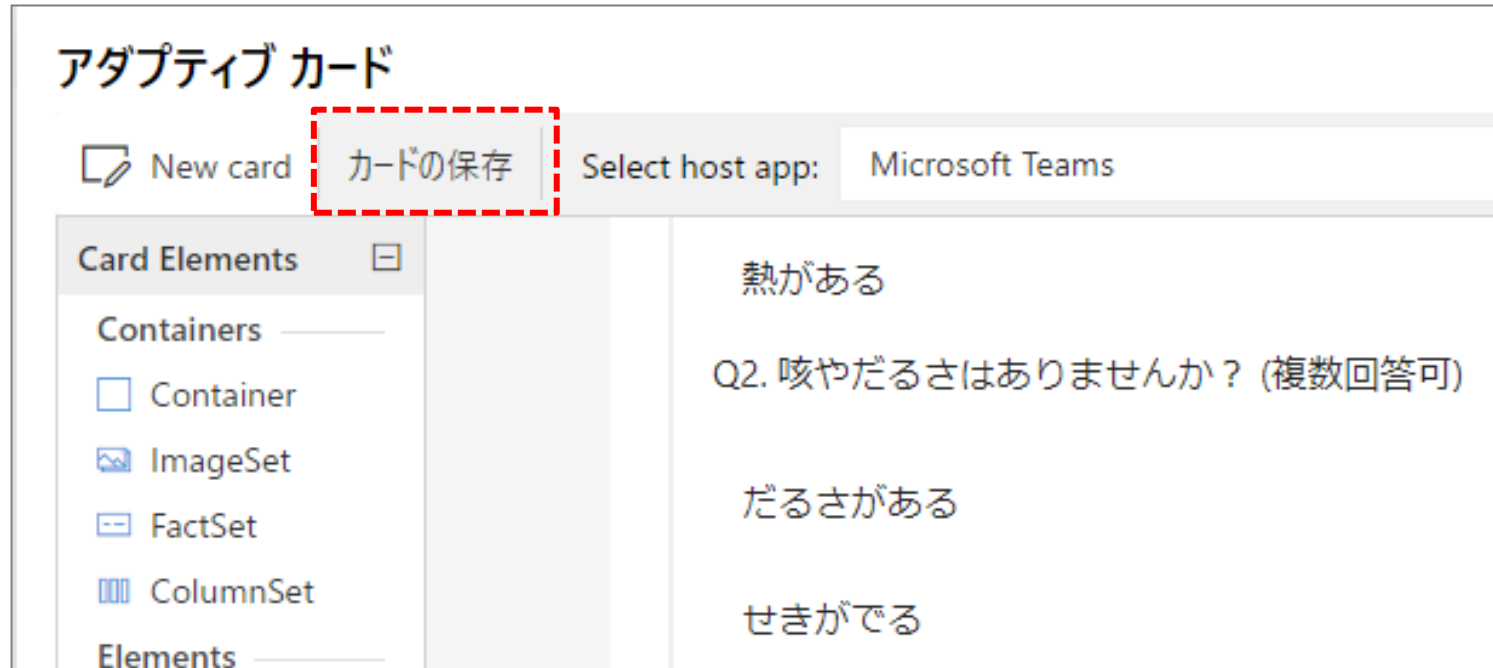
**Choicesを増やしたら・変更したら、SharePoint側の列も変更する！**

カード上で表示されるテキスト



## 2-2. 単一の選択肢を追加する – Adaptive Card

- 設定が完了したらAdaptive Cardデザイナー上部の [カードの保存] をクリックします。



- デザイナー上での編集はこれで完了です。
- 次に、ここで設定した質問を保存する列をSharePointに作成します。



## 2-2. 単一の選択肢を追加する – SharePoint

- 導入手順と同様に、回答を保存する列をSharePointリストに追加します。



- フローを導入する際に作成したSharePointリストで列の追加を行います。ここでは [選択肢]列を追加します。
- 列名はわかりやすいものであれば任意です。
- 選択肢にはAdaptive Cardで追加した選択肢の**内部的な値**を設定します。

A screenshot of the '列の作成' (Create Column) dialog box in SharePoint. The dialog has a title bar with a close button (X). The main content area is titled '列の作成' and includes a sub-header '列の作成についての詳細を確認してください。' (Check the details about creating the column). The '名前' (Name) field is set to 'Q6の質問' and is highlighted with a red dashed box. The '説明' (Description) field is empty. The '種類' (Type) dropdown is set to '選択肢' (Choice). The '選択肢 \*' (Choice \*) section is highlighted with a blue dashed box and contains a list of choices: 'peach', 'apple', and 'orange'. To the right of the dialog, a separate box shows the choices 'peach', 'apple', and 'orange' with 'X' buttons next to them, and a blue arrow points from this box to the '選択肢 \*' section of the dialog. Below the choices, there is a checkbox labeled '値を手動で追加できます' (You can add values manually) with an information icon (i). The '既定値' (Default value) dropdown is set to 'なし' (None). At the bottom, there are two buttons: '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel).



## 2-2. 単一の選択肢を追加する – Power Automate

- 最後に回答データをSharePointリストの新しい列に保存する設定を行います。
- 操作前に必ず、フローの保存 & 開きなおしをしてください。これによってリストの列追加が反映されます。

サーベイ送信 (プレビュー)

Condition

Condition 2

回答結果登録

Title列には「匿名」か、回答者のDisplay Nameを記録

サイトのアドレス\*

MySite - https://sharepoint.com/sites/MySite

リスト名\*

SurveyResult

Title\*

if(...)

体温 Value

temperature

体調

出力

在宅勤務

出力

その他悩みごと

otherConcern

Q5の質問

q5

Q6の質問 Value

詳細オプションを表示する

- フローの [Apply to each] アクションをクリックし、中にある SharePoint へのアイテム登録 [回答結果登録] を選択すると、新しい列が追加されています。
- 今回は選択肢列を追加したので、ここがドロップダウンになっています。
- ここに、[サーベイ送信] アクションの結果を登録します。

Q6の質問 Value

apple

orange

peach

カスタム値の入力



## 2-2. 単一の選択肢を追加する – Power Automate

- ドロップダウンで [カスタム値の入力] を選択します。
- アクションの右側に、[動的なコンテンツ] (フロー上で取り扱えるデータ) が一覧表示されるので、この中から、先ほどAdaptive Cardデザイナーで**設定した設問のId**を選択します。

The screenshot illustrates the steps to add a dynamic content item to an action in Power Automate. On the left, a dropdown menu for 'Q6の質問 Value' is open, showing options: 'apple', 'orange', 'peach', and 'カスタム値の入力' (Custom value input), which is highlighted with a red dashed box. A red arrow points from this option to the '動的なコンテンツの追加' (Add dynamic content) button in the center pane. Below this, an action named 'サーベイ完了報告 (プレビュー)' is shown. Another red arrow points from the '動的なコンテンツの追加' button to the right pane, which displays a list of dynamic content items under the heading 'このフローで使用されるアプリやコネクタから動的なコンテンツを追加します。' (Add dynamic content from apps and connectors used in this flow). The list includes items like 'displayName', 'email', 'objectId', 'otherConcern', 'physical', 'q5', and 'q6'. The item 'q6' is highlighted with a red dashed box, indicating it is the selected dynamic content for the action.



## 2-2. 単一の選択肢を追加する – Power Automate

↓

回答結果登録

Title列には「匿名」か、回答者のDisplay Nameを記録

サイトのアドレス\*

MySite - <https://chonmage.sharepoint.com/sites/MySite>

リスト名\*

SurveyResult

Title\*

fx If(,,) X

体温 Value

temperature x

体調

出力 x

在宅勤務

出力 x

その他悩みごと

otherConcern X

Q5の質問

q5 X

Q6の質問 Value

q6 x

詳細オプションを表示する

↓

アクションの追加

↓

サーベイ完了報告 (プレビュー)

+ 新しいステップ

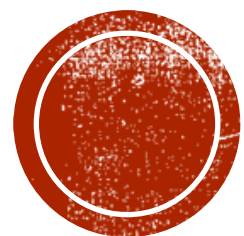
保存

このように表示されれば設定は完了です。

- フローを保存してテストしてみてください。



ひと手間加わるよ



## 2-3. 選択肢（複数選択）



## 2-3. 複数選択の選択肢を追加する – Adaptive Card

- 配布したテンプレートではQ2,3で利用しています。
- これと同様の設問を一つ追加する方法をご紹介します。

The screenshot displays the Adaptive Card editor interface. On the left, a preview of the card shows two questions. The first question, 'Q1. 今日の体温はどうですか？ \*', is a single-select question with a placeholder text. The second question, 'Q2. 咳やだるさはありますか？ (複数回答可)', is a multi-select question with three options: 'だるさがある', 'せきがでる', and '頭痛がする'. A red dashed box highlights the configuration panel for the second question. In this panel, the 'Allow multi selection' checkbox is checked, and the 'Compact style' checkbox is unchecked. A red arrow points from the text below to the 'Allow multi selection' checkbox.

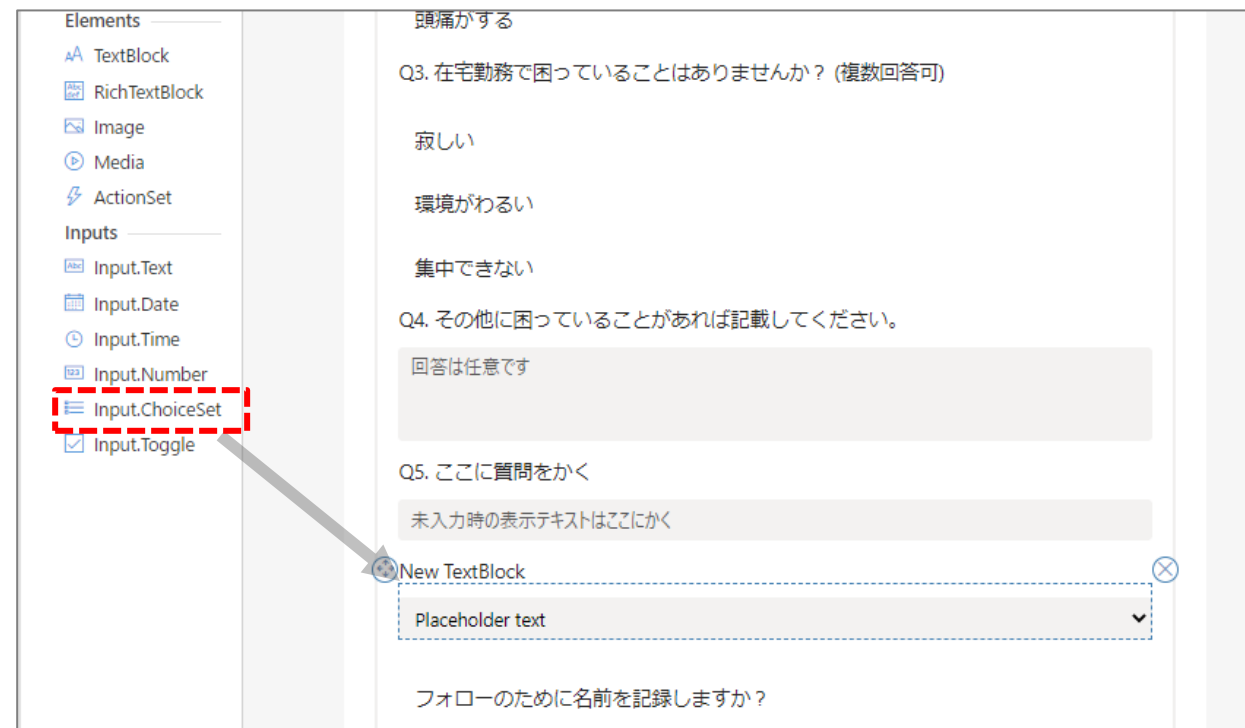
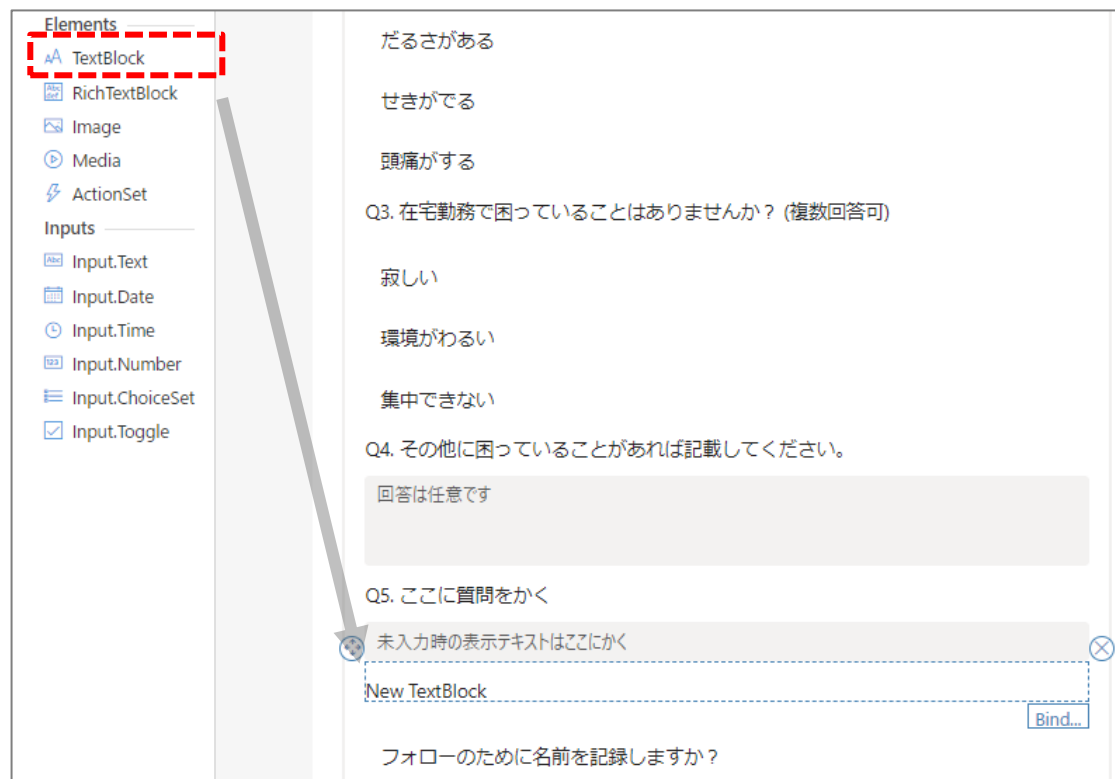
Data context	(not set)
Only show when	(not set)
Id	Physical
Initially visible	<input checked="" type="checkbox"/>
Placeholder	Placeholder text
Allow multi selection	<input checked="" type="checkbox"/>
Compact style	<input type="checkbox"/>
Default value	(not set)

Allow multi selection がチェックあり  
※チェックボックス形式にするなら、Compact styleをチェックしない



## 2-3. 複数選択の選択肢を追加する – Adaptive Card

- TextBlock、Input.ChoiceSetパーツはいずれもドラッグ＆ドロップでカードに配置できます。



## 2-3. 複数選択の選択肢を追加する – Adaptive Card

- TextBlockには質問内容を記載します。
- TextBlockを左側の表示で選択し、Element Propertiesの Text 欄 (赤枠内) に質問を入力してください。

The screenshot displays the Adaptive Card editor interface. On the left, a list of questions is shown, including 'Q3. 在宅勤務で困っていることはありませんか？ (複数回答可)', 'Q4. その他に困っていることがあれば記載してください。', 'Q5. ここに質問をかく', 'Q6. 複数回答不可な質問です', and 'Q7. 複数回答可だよ'. The 'Q7. 複数回答可だよ' item is selected, and a 'Bind...' button is visible next to it. On the right, the 'TextBlock' properties are shown. The 'Text' field is highlighted with a red dashed box, and it contains the text 'Q7. 複数回答可だよ'. Below the 'TextBlock' properties, the 'Layout' section is visible, showing settings for Spacing, Separator, Horizontal alignment, Height, Wrap, and Maximum lines.

TextBlock

Data context (not set) ...

Only show when (not set) ...

Id (not set)

Initially visible ☒

Text Q7. 複数回答可だよ ...

Layout

Spacing Default ▾

Separator ☐

Horizontal alignment Left ▾

Height Automatic ▾

Wrap ☐

Maximum lines (not set)



## 2-3. 複数選択の選択肢を追加する – Adaptive Card

- Input.Textと比べて少し設定が複雑です。

The image shows a side-by-side comparison of an Adaptive Card in preview and configuration modes. The preview on the left shows a card with a question 'Q7. 複数回答可だよ' and three choices: '車', '電車', and '飛行機'. The configuration panel on the right for 'Input.ChoiceSet' has several fields highlighted with red dashed boxes: 'Id' (set to 'q7'), 'Initially visible' (checked), 'Placeholder' (set to 'Placeholder text'), 'Allow multi selection' (checked), 'Compact style' (checked), 'Layout' (Spacing: Default, Separator: unchecked, Wrap: unchecked), and 'Choices' (a table with three entries: '車' with value 'car', '電車' with value 'train', and '飛行機' with value 'plane').

Preview	Configuration (Input.ChoiceSet)
頭痛がする	
Q3. 在宅勤務で困っていることはありませんか？ (複数回答可)	
寂しい	
環境がわるい	
集中できない	
Q4. その他に困っていることがあれば記載してください。	
回答は任意です	
Q5. ここに質問をかく	
未入力時の表示テキストはここにかく	
Q6. 複数回答不可な質問です	
未選択時&コンパクトスタイルでの表示	
Q7. 複数回答可だよ	Id: q7
車	Initially visible: <input checked="" type="checkbox"/>
電車	Placeholder: Placeholder text
飛行機	Allow multi selection: <input checked="" type="checkbox"/>
	Compact style: <input checked="" type="checkbox"/>
	Default value: (not set)
	Layout: Spacing: Default
	Separator: <input type="checkbox"/>
	Wrap: <input type="checkbox"/>
	Choices:
	車   car   X
	電車   train   X
	飛行機   plane   X
	Add a new choice

- Id : 入力系では必須。何らかの一意的な値を入力します。
- Placeholder : Compact styleで、未選択時の表示文字を設定します。
- Choices : 選択肢のカード上の表示と、内部的な値を設定します。



## 2-3. 複数選択の選択肢を追加する – Adaptive Card

- 実際にChoicesをいじるときには、左側のボックスがカード表面、つまりユーザーに見える文字列で右側のボックスがPower Automateで、ユーザーの選択結果として得られる値であることに注意してください。

Choices	
平熱どおり	normal
少し熱っぽい	feverish
熱がある	fever

Add a new choice

カード上で表示されるテキスト

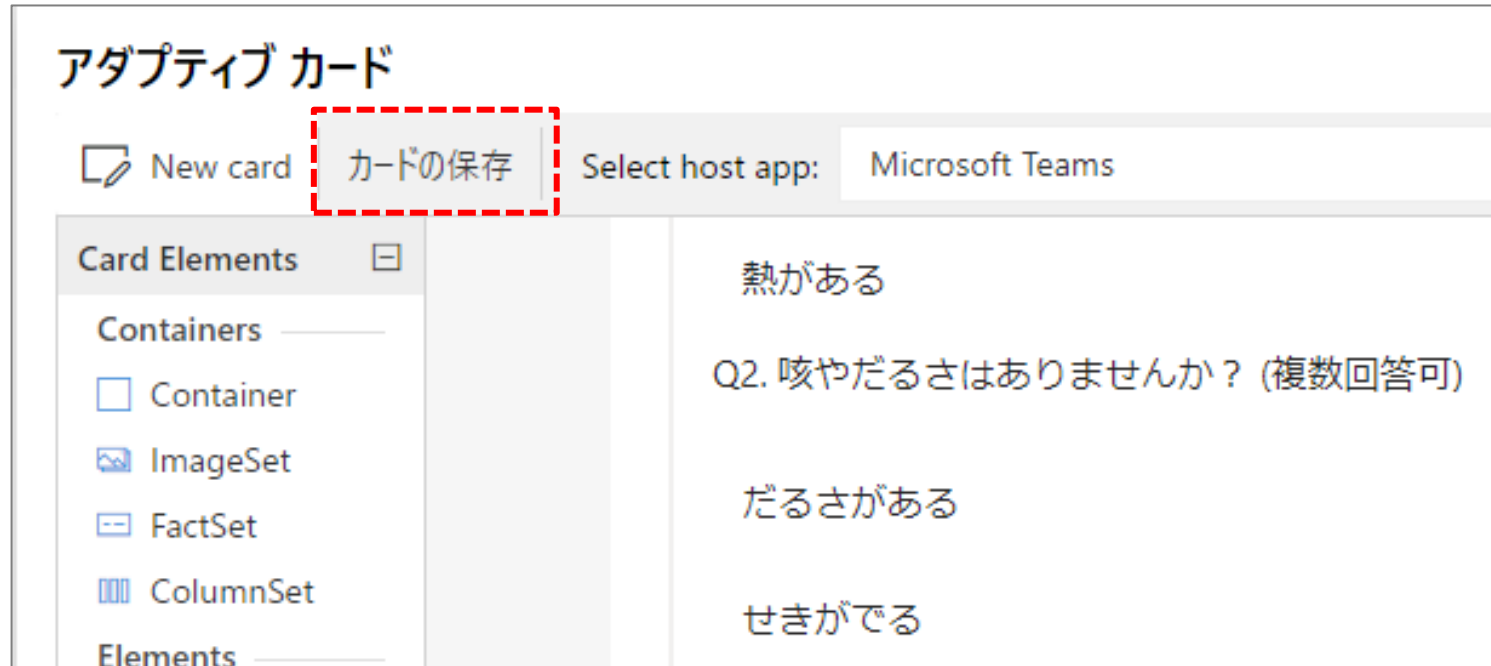
回答結果として出力される値 (Power Automateで取れるのはこっち)  
今回でいえば、**SharePointの選択肢列に入れる値**

**Choicesを増やしたら・変更したら、SharePoint側の列も変更する！**



## 2-3. 複数選択の選択肢を追加する – Adaptive Card

- 設定が完了したらAdaptive Cardデザイナー上部の [カードの保存] をクリックします。



- デザイナー上での編集はこれで完了です。
- 次に、ここで設定した質問を保存する列をSharePointに作成します。



## 2-3. 複数選択の選択肢を追加する – SharePoint

- 導入手順と同様に、回答を保存する列をSharePointリストに追加します。



- フローを導入する際に作成したSharePointリストで列の追加を行います。ここでは [選択肢]列を追加します。
- 列名はわかりやすいものであれば任意です。
- 選択肢にはAdaptive Cardで追加した選択肢の**“内部的な値”**を設定します。
- その他のオプションにある [複数選択を許可] を有効にします。

A screenshot of the SharePoint list column configuration form for the '選択肢' (Options) column. The form is titled '名前 \*' and contains the following fields:

- '名前 \*': 'Q7の質問' (highlighted with a red dashed box)
- '説明': (empty)
- '種類': '選択肢' (highlighted with a blue dashed box)
- '選択肢 \*': A list of options: 'car', 'train', 'plane' (highlighted with a blue dashed box)
- '値を手動で追加できます': (unchecked)
- '既定値': 'なし' (dropdown menu)
- '計算済みの値を使用': (unchecked)
- 'その他のオプション':
  - '次の形式で選択肢を表示':
    - 'ドロップダウン メニュー': (selected)
    - 'オプション ボタン': (unselected)
  - '複数選択を許可': (checked, highlighted with a red dashed box)
- 'この列に情報が含まれている必要があります': (checkbox)

The form has '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons at the bottom.

## 2-3. 複数選択の選択肢を追加する – Power Automate

- 最後に回答データをSharePointリストの新しい列に保存する設定を行います。
- 操作前に必ず、フローの保存 & 開きなおしをしてください。これによってリストの列追加が反映されます。

回答結果登録

Title列には「匿名」か、回答者のDisplay Nameを記録

サイトのアドレス\*

MySite - https://...sharepoint.com/sites/MySite

リスト名\*

SurveyResult

Title\*

if( )

体温 Value

temperature

体調

出力

在宅勤務

出力

その他悩みごと

otherConcern

Q5の質問

q5

Q6の質問 Value

q6

Q7の質問 Value - 1

+ 新しい項目の追加

詳細オプションを表示する

- フローの [Apply to each] アクションをクリックし、中にある SharePointへのアイテム登録 [回答結果登録] を選択すると、新しい列が追加されています。
- 今回は選択肢列を追加したので、ここがドロップダウンになっています。
- また複数選択を可にしているので [新しい項目の追加] もあります。
- ここに、[サーベイ送信] アクションの結果を登録します。





## 2-3. 複数選択の選択肢を追加する – Power Automate

- 複数回答可能な場合には、回答結果のデータから、SharePointの選択肢列に登録できる形にフォーマットを調整する必要があります。
- Q2,3と同様、以下のような、IFの条件分岐、フォーマット調整のための選択アクションを追加していきます。

The diagram illustrates a Power Automate workflow for handling multiple selections. At the top, a 'Condition' step is configured with the text '体調に関する回答結果が1つ以上チェックされているか' (Are there one or more checkmarks for the answer related to health?). Below the condition, there are two branches:

- はいの場合 (Yes):** This branch contains an action titled 'フォーマット調整 - 体調' (Format adjustment - Health). The action is configured to 'SharePointに登録できる形にフォーマットを変更' (Change format to a format that can be registered in SharePoint). The '開始\*' (Start\*) field is set to 'split(...)' (split(...)). A mapping table is shown below:

*マップ	Value	項目 x
	Enter キー	値の入力

At the bottom of the 'はいの場合' branch, there is a link to 'アクションの追加' (Add action).

The 'いいえの場合 (No)' branch is currently empty and also has a link to 'アクションの追加' (Add action).

Adaptive Cardの結果

car, train



SharePointへの登録

[{"Value":"car"}, {"Value":"train"}]

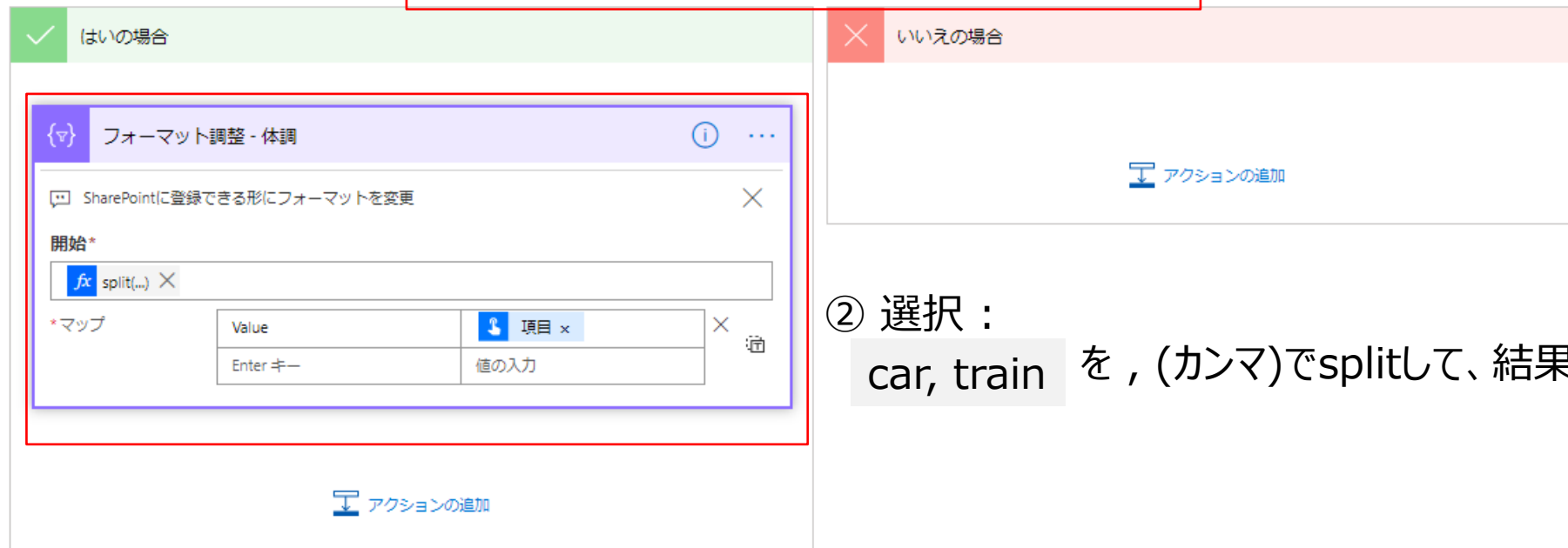


## 2-3. 複数選択の選択肢を追加する – Power Automate

- 各アクションでは以下のような操作をしています。



- ① 分岐条件：  
回答が1つ以上チェックされていることを確認

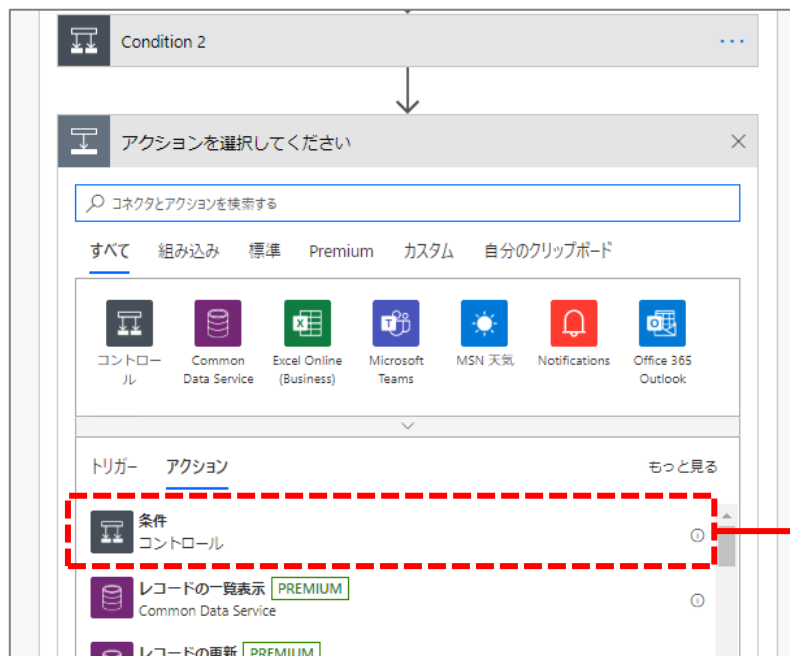


- ② 選択：  
car, train を , (カンマ)でsplitして、結果item()をマップ

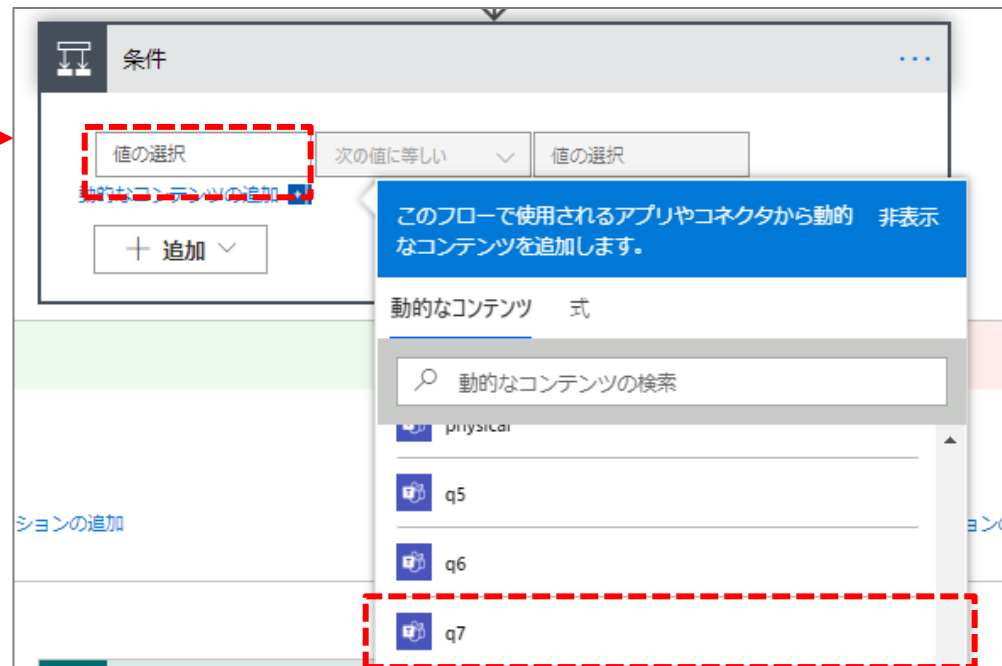


## 2-3. 複数選択の選択肢を追加する – Power Automate

- まずは条件分岐から。



Condition 2に続けて、アクション追加  
[条件] を追加します。

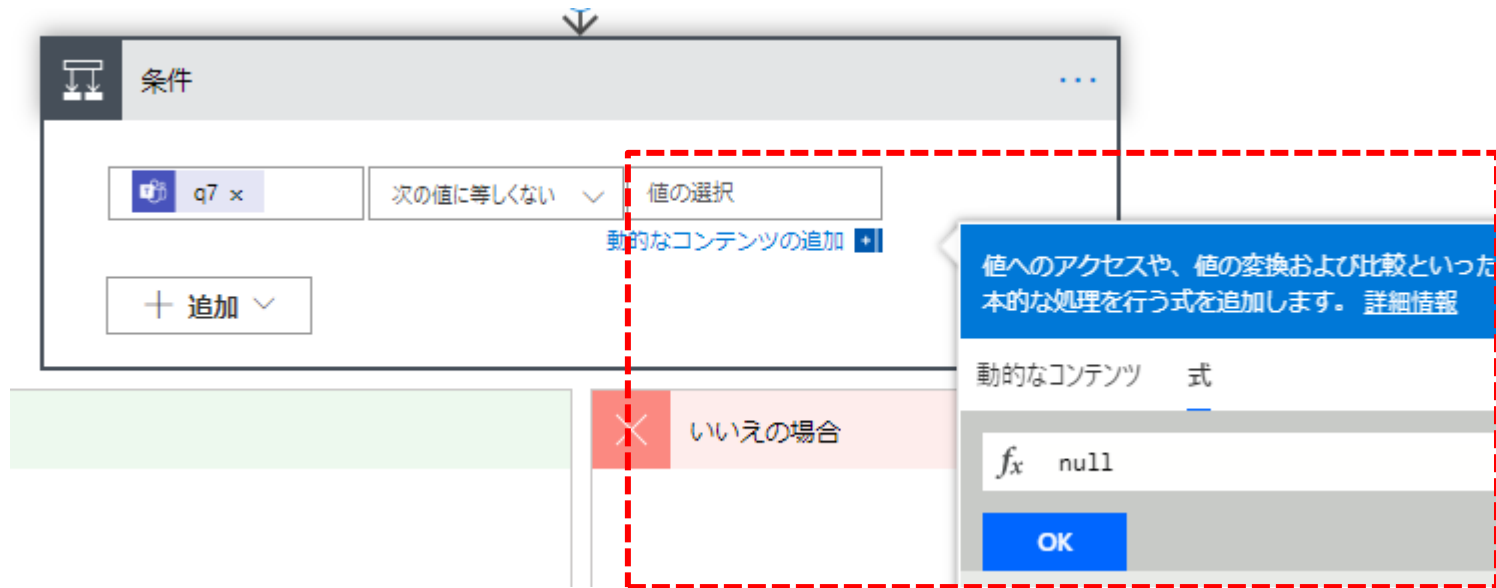


左側のボックスにカーソルをあてるとすぐに動的なコンテンツの一覧が表示されるので、複数選択の **Input.ChoiceSetのId** を選びます。



## 2-3. 複数選択の選択肢を追加する – Power Automate

- まずは条件分岐から。



一方の右側のボックスでは、[式]を選択し、図のように関数として **null** を入力し、[OK] をクリックします。  
間のボックスは、ドロップダウンになっていますが、[次の値に等しくない]を選択します。

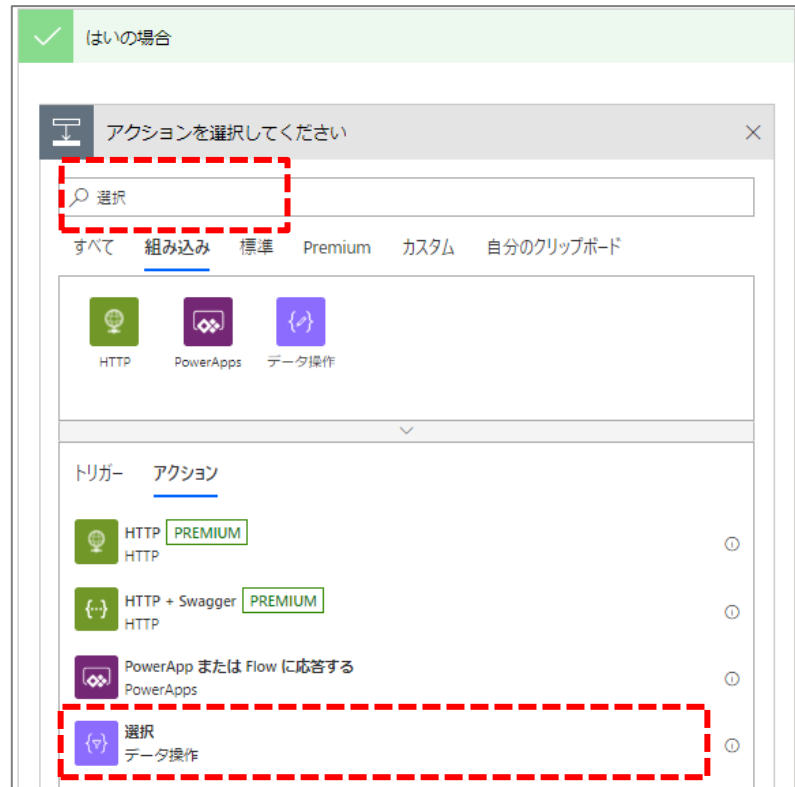
これらの操作により、

XXXXの回答結果 が null と等しくないか  
という条件が構成されました。



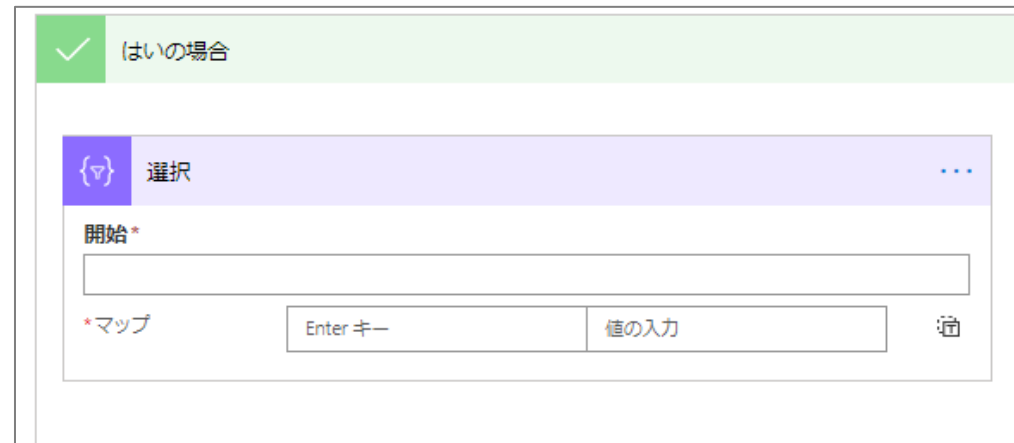
## 2-3. 複数選択の選択肢を追加する – Power Automate

- 条件分岐の「はい」側にアクションを追加します。



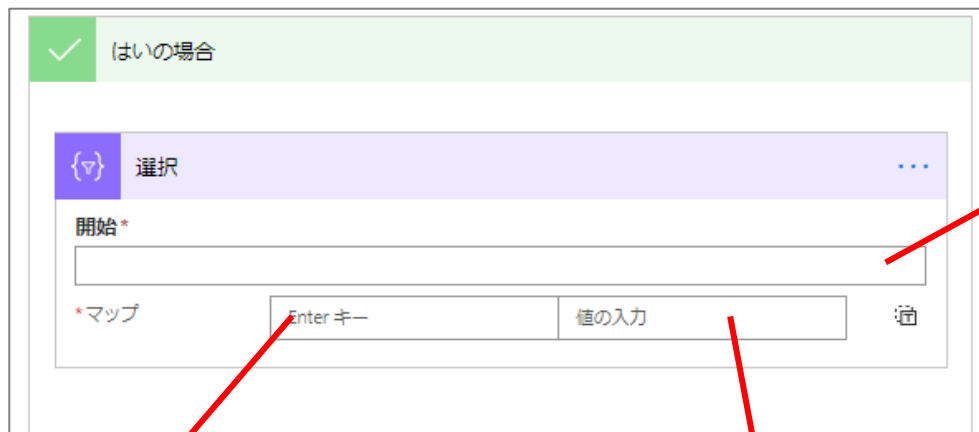
アクションの追加にある検索窓に「選択」と入力し、[組み込み]のタブをクリックすると、データ操作の[選択]アクションが表示されます。

クリックして追加しましょう。

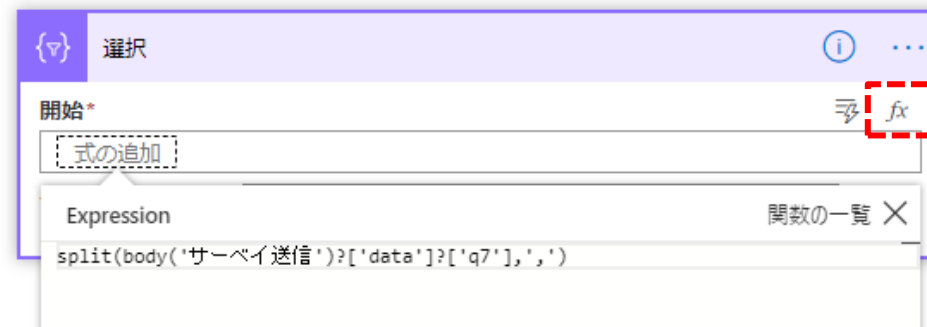


## 2-3. 複数選択の選択肢を追加する – Power Automate

- 選択アクションでは、回答結果を , (カンマ) でsplitして、結果 item() をマップします。

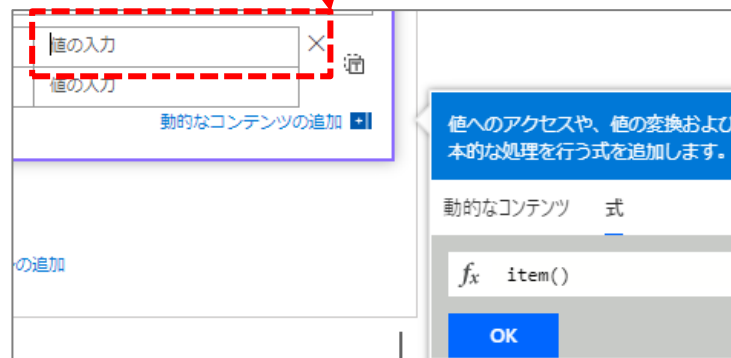


\*マップのEnterキーには Value と入力します。



開始\*にカーソルをあて、fx をクリックすると式の挿入ができます。  
以下の形式で、Input.ChoiceSetのIdに合わせて、式を入力してください。

```
split(body('サーベイ送信')['data']['ここにId'],',')
```



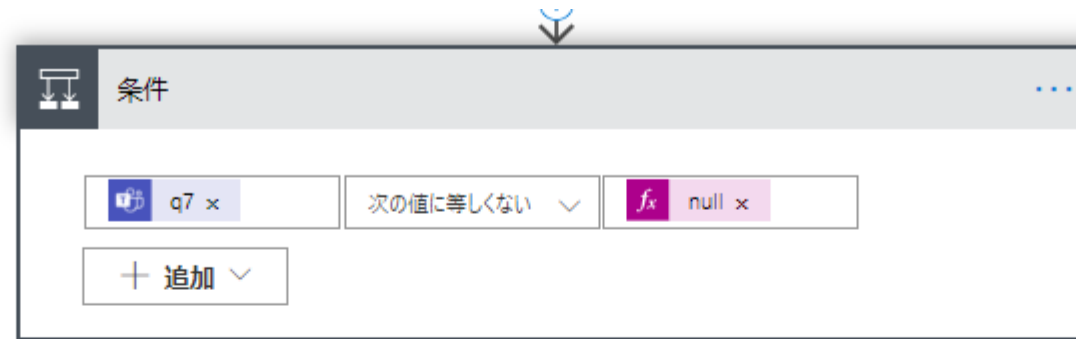
右側、[値の入力] では、式の挿入で item() と入力します。



## 2-3. 複数選択の選択肢を追加する – Power Automate

- 条件分岐および選択アクションの完成イメージは以下のようになります。

※ここではIdを q7 としています。



## 2-3. 複数選択の選択肢を追加する – Power Automate

- ここまで来て、やっとデータ登録の準備ができました。今、[選択]アクションの結果で、SharePointに登録できるフォーマットが得られる状態になっています。

回答結果登録

Title列には「匿名」か、回答者のDisplay Nameを記録

サイトのアドレス\*

MySite - https://[url].sharepoint.com/sites/MySite

リスト名\*

SurveyResult

Title\*

fx if(...) X

体温 Value temperature X

体調 (v) 出力 X

在宅勤務 (v) 出力 X

その他悩みごと otherConcern X

Q5の質問 q5 X

Q6の質問 Value q6 X

Q7の質問 Value - 1

ここをクリックして

新しい項目の追加

詳細オプションを表示する

できた入力欄にカーソルを合わせて、先ほどの [選択]アクションの[出力]を挿入します。

Q7の質問

動的なコンテンツの追加

詳細オプションを表示する

アクションの追加

サーベイ完了報告 (プレビュー)

このフローで使用されるアプリやコネクタから動的なコンテンツを追加します。

動的なコンテンツ 式

動的なコンテンツの検索

Apply to each

現在のアイテム 現在のアイテム

選択

(v) 出力





## 2-3. 複数選択の選択肢を追加する – Power Automate

回答結果登録

Title列には"匿名"か、回答者のDisplay Nameを記録

サイトのアドレス\*

MySite - <https://contoso.sharepoint.com/sites/MySite>

リスト名\*

SurveyResult

Title\*

fx if(...) X

体温 Value

temperature X

体調

(v) 出力 X

在宅勤務

(v) 出力 X

その他悩みごと

otherConcern X

Q5の質問

q5 X

Q6の質問 Value

q6 X

Q7の質問

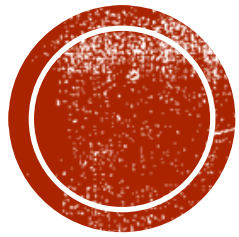
(v) 出力 X

詳細オプションを表示する

完成了ました！！

あとはフローを保存して、テストしてみてください！





以上でカスタマイズは完了です。  
Adaptive Cardのカスタマイズはおおよそここでの要領とおりですので、他にも試してみてください。